

薬の飲み方について

— 薬の知識を身につけよう —

東京女子医科大学八千代医療センター
薬剤部 小坂好男



処方せん医薬品は平成20年4月の時点で、14359品目数が収載されています。その後もほぼ毎月、新薬が登場して増え続けています。

これらの中から、患者さん一人ひとりに合った薬が処方され、治療に用いられているのです。

みんなの薬 と あなたの薬

「みんなの薬」とは市中の薬局・薬店で販売されている薬のことで、正しくは「一般用医薬品」と言い「OTC薬」「大衆薬」と言うこともあります。それに対して「あなたの薬」は、正しくは「処方せん医薬品(医療用医薬品)」と云い、医師があなたの身体を診て、その結果今のあなたの身体の症状に合わせて処方された薬を云います。あなたのための薬を他人にあげたり、あるいは飲まずに取って置くなどして後に用いることは、正しい方法ではありません。

薬の名前は同じだけれど・・・

「バファリン」と云う名前の薬があります。前述した「一般用医薬品」「処方せん医薬品」どちらにもこの名前の薬があります。ところが、両者の成分は全く異なったものです。また、名前が同じだけれど続けて書いてある「数字」が異なる薬を目にしたことがあると思います。これは、年齢・体格の違いばかりでなく症状によっても薬の量が変わるための規格です。

主作用 と 副作用

薬は、目的とした作用を「主作用」と云い本来の目的としない作用を「副作用」と云います。「副作用」とは薬のもつ作用の一つでどの薬でもあることを知ってください。その「副作用」の中で望んでいない悪い症状を起こす作用を「有害作用」と云います。ですから、まず「正しく薬を飲む」ことが大切です。

薬の効き方は人によって違うの??

お酒が強い人・弱い人がいるように、薬にも強い人・弱い人がいます。口から飲んだ薬は、胃・腸から吸収され、肝臓に集められ血液に乗って全身へ廻ります。病気のところで薬が効いて効果を現し、その後分解されて体外へ排泄されます。この過程で、遺伝・体質・消化器・臓器の働きが一人ひとり違うので、効果や副作用の現われかたも違ってきます。「あなたの薬」はそのことが反映されている薬です。



東京女子医科大学

八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

